

第48号



URL ; www.tops-h.net

このQRコードからトップス広島Webサイトへアクセスできます。



ニュース

ニュース

加盟団体

- ・NTT西日本広島
- ・ソフトテニスクラブ
- ・サンフレッチェ広島
- ・中国電力陸上競技部
- ・JTサンダース
- ・コカ・コーラウエスト
- ・湧永製薬
- ・レッドスパークスホッケー部
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・広島東洋カープ

メイプル準優勝!!ワクナガは惜しくも敗退

第37回日本リーグプレーオフが3月9日(土)~10日(日)に駒沢体育館で開催され、広島メイプルレッズは6年ぶりに出場した。準決勝でリーグ2位の北國銀行を23-15で下し決勝進出を決めたメイプルは、リーグ1位のオムロンとの決勝戦に臨んだ。早い速攻とパスワークで最初に試合の流れを掴んだのはメイプル。オムロンは退場者が出たこともあり、7番宋の得点を皮切りに、前半は12-8とメイプル優先で終了する。しかし後半、オムロンのディフェンスが機能し始めメイプルは攻めあぐねる。その後両チーム一進一退の攻防が続き、最後まで分からない展開になる。しかし、相手GKのファインセーブがあり、最後のノーロスタイムスローでもゴールを割ることができず、21-22であと一步のところまで優勝を逃した。優勝は逃したが最後まで全力を尽くしたチームの健闘を讃えたい。

一方14年連続で出場しているワクナガレオリックは、準決勝でトヨタ車体に16-21で敗退した。ワクナガは立ち上がり、GK松村を中心とした安定したディフェンスにより、9-9とロースコアの展開で前半を折り返した。後半は、一転して両チーム共に得点を取り合う展開で後半20分まで15-15と両チーム一進一退の攻防が続いたが、後半も残り10分という所でトヨタ車体のディフェンスを崩しきれず惜しくも5点差で敗退した。ワクナガは最後まで試合の主導権を握ることが出来なかった。来シーズンこそは、タイトル奪還をかけて頑張してほしい。

▽個人表彰結果(広島メイプルレッズ)

殊勲選手賞	宋海林 (初)	ベストセブン	宋海林 (初)
得点王	宋海林 (初)	〃	高山智恵 (2回目)
フィールド得点賞	高山智恵(初)	〃	新城明奈 (2回目)
7mスロー阻止率賞	堂面妙子(4回目)	〃	

▽個人表彰結果(ワクナガレオリック)

7mスロー阻止率賞	志水孝行(初)
フェアプレー賞	湧永製薬

メイプル、ファン感謝デー開催!!

3月2日(土)に東区スポーツセンターにて広島メイプルレッズファン感謝デーが開催された。トップススポーツチームサポート隊の一環として、広島メイプルレッズと東区スポーツセンターが共催で行なっている。当日の参加者は総勢120人で大変盛り上がりがあった。選手と参加者が一緒にハンドボールに触れ、選手が優しく丁寧にシユート練習やパスの仕方などを教え、ミニゲームやパン食い競争をするなど、一緒に楽しんでいった。選手自らがこのイベントを盛り上げ会場には笑顔が溢れ、参加者と共に楽しんでいった。ミニゲーム終了後、監督・選手によるサイン会が開かれた。参加した子どもたちは「選手と交流できてすごく楽しかった」という声が多く上がった。キャプテンである新城明奈選手は「いつも応援してもらっているの選手自身も楽しくできた」と答えてくれた。



男女とも 惜しくも準優勝!
3月9日(土)と10日(日)に広島中央テニスコート・広域公園テニスコート他にて第17回アジアアカップひろしま国際大会が開催された。女子チームは東京のナガセケンコーと決勝で対戦し、ファイナルゲームで惜しくも敗れ、2年振り6度目の優勝には届かなかった。男子チームは韓国の達城郡庁と決勝で対戦し、女子と同じく惜しくもファイナルゲームで敗れ、2年振り10度目の優勝にはならなかった。男女とも決勝で敗れるという惜しい結果になったが、この結果をバネに次の試合に期待したい。

2/25~3/24 トップス広島 試合結果

サンフレッチェ広島

▽AFCチャンピオンズリーグ

2/27 サンフレッチェ広島 ● 0-2 ○ プニョドコロ

▽Jリーグ2013

3/2 サンフレッチェ広島 ● 1-2 ○ 浦和レッドダイヤモンズ

3/17 サンフレッチェ広島 △ 0-0 △ 鹿島アントラーズ

JTサンダース

▽Vプレミアリーグ

3/2 JTサンダース ○ 3-2 ● 東レアローズ

3/3 JTサンダース ○ 3-2 ● 大分三好ヴァイセアドラー

広島東洋カープ

▽オープン戦

3/5 広島東洋カープ ● 0-4 ○ 福岡ソフトバンクホークス

3/7 広島東洋カープ ○ 3-0 ● 東京ヤクルトスワローズ

3/9 広島東洋カープ ○ 6-2 ● 横浜DeNAベイスターズ

3/14 広島東洋カープ ● 1-2 ○ 読売ジャイアンツ

3/16 広島東洋カープ ● 3-14 ○ 東北楽天ゴールデンイーグルス

3/17 広島東洋カープ ● 2-5 ○ 東北楽天ゴールデンイーグルス

3/24 広島東洋カープ ○ 5-4 ● 福岡ソフトバンクホークス

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》



マエケン世界のマウンドで力投！

カーブのエースが日本のエースへまた1歩近づいた。2日に開幕した第3回ワールド・ベースボール・クラシック（以下WBC）で日本は11日現在決勝トーナメント進出を決めた。侍 JAPAN を率いるのはミスター赤ヘル山本浩二監督だ。山本監督は1次ラウンド第2戦目（中国戦）に広島のエース前田健太を指名した。1次ラウンドは65球という投球制限がある中で中国打線を5回無失点に抑え勝利を導いた。10日の2次ラウンドオランダ戦も抜群の制球力で日本の勝利に貢献した。1番から3番までメジャーリーガー、4番は2年連続セ・リーグ本塁打王のバレンティン（ヤクルト）、5番今季楽天に加入した元ヤンキースで打点王のジョーンズといった怪物揃いのオランダ打線を5回無失点WBCの日本代表では最多の1試合9奪三振の快投を魅せた。被安打もわずか1本と完璧な投球だった。一方、ここまで苦しんでいた打線も6本塁打と大量援護だった。18日の準決勝プエルトリコ戦のマウンドに上がった前田だが、初回連続四球をきっかけに先制点を許し、今大会初の失点を与えた。しかし、2回以降は変化球を有効に使い持ち直した。2度のゴールデン・グラブ賞に輝いた持ち前の好フィールディングによりプエルトリコのチャンスの芽を摘んだ場面もあった。前田は5回1失点と最小失点に留めたが、後続の投手が失点し1-3で敗れ、日本はベスト4に終わった。前田は日本代表最終合宿から右肩に張りを訴え、広島側から登板した日本代表との強化試合では本来のマエケンとはかけ離れた投球だった。しかし、登板を重ねるごとに右肩の調子は良くなっていった。当初、同級生の田中（楽天）と2枚看板として日本の先発陣を引っ張る予定であったが、田中は不調もあり中継ぎ登板もあった。実質的にはマエケンこそが今大会の日本のエースとしての役割を果たし、第3回大会のベストナインにも選出された。公式戦開幕を29日に控えたカーブに戻ってきても不動のエースとして再び活躍が期待される。



飲酒運転根絶を願う

シャトルスマッシュ

3月2日（土）に安佐北警察署にて区内の安全運転管理者たちの事業所決起大会が行われた。約100人の参加があり、参加者全員で交通事故により亡くなられた方々に対し祈りを捧げた。（昨年広島県内の飲酒運転による事故死者は15人で前年より6人増えている。）その後、武田選手・井上（春）選手の2名が「飲酒運転根絶」と書かれたシャトルを思いをこめて力強くスマッシュした。今後、飲酒運転による交通事故で亡くなる方がいなくなるようになってもらいたい。



4冠目指し必勝祈願！！

3月21日（木）に広島市中区の護国神社で監督、選手、スタッフで4冠達成を祈願した。スーツ姿に身を包んだ選手たちは、引き締まった表情でかわ手を打った。柳 承辰（ゆう すんじん）監督は「今シーズンはプレッシャーも感じるが、プレッシャーを楽しんでいきたい。」と意気込みを語り、キャプテンの駒澤李佳選手は「今年は追われる側なので、新たな気持ちでチャレンジとしていきたい。」個人目標として「最優秀賞やベストイレブンといった形に残る賞を取りたい。」と語ってくれた。今シーズンの活躍に期待がかかる。



全日本実業団ハーフマラソン大会に出場！

3月17日（日）に山口県山口市で「第41回全日本実業団ハーフマラソン大会」が開催され、中国電力陸上競技部からは森本卓司選手、池端智紀選手、石川卓哉選手、清水匠選手、山崎亮平選手、刀柝健太郎選手の6選手が出場した。参加したうち3人の選手が自己新記録をだすという好成績で終わった今大会。

次のレースに向け、更なる飛躍に期待を寄せている。

順位	選手	記録
15位	森本卓司	1時間02分39秒
39位	池端智紀	1時間04分09秒（自己新）
44位	石川卓哉	1時間04分26秒
45位	清水匠	1時間04分26秒（自己新）
51位	山崎亮平	1時間04分32秒（自己新）
100位	刀柝健太郎	1時間06分26秒



福山で夢スポーツ教室に参加！！

3月16日（土）にひろしま子ども夢スポーツ「トップス広島」スポーツ教室が福山市のローズアリーナにおいて開催されトップス広島に所属するチームの選手やOB等がコーチを務め、およそ300名の小学生とその保護者が参加した。指導者には各チームから豪華な顔ぶれが揃った。バレーボールを指導したJTサンダーズOBの臺光章さん、小森誠司さん、大町誠さんは「バレーボールをする人が減ってきているので、このイベントをきっかけにバレーボールをする人が増えていただくと嬉しい。子ども達にも楽しんでいただけたと思います。」と語り、ホッケーを体験した子は、「リフティングが難しいけど、段々とできるようになって楽しい。」と話してくれ、どの競技を体験した子ども達も楽しそうにプレーしていた。野球を指導したカーブOBの高橋里志さんは『小学生なのでいろんなスポーツに触れこれからはスポーツを続けていけるようなイベントになっていけば良い。』と語った。

◎参加指導者一覧

サンフレッチェ広島 長尾一宏・渡辺康則（コーチ）
 JTサンダーズ 臺光章・小森誠二・大町誠（OB）
 ワクナガレオリック 東江太輝・成田幸平
 広島ガスバドミントン部 小池温子・櫻井みどり
 NTT西日本ソフトテニスクラブ 村上雄人・中本圭哉
 中国電力陸上競技部 本多浩隆・沖野剛久
 功・ユウソフトバレーボール部 田辺由紀子・前田夏希・古賀明子
 広島東洋カーブ 高橋里志

各チームの一推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



ワクナガレオリック

東江 太輝

生年月日：1989年6月22日
 身長/体重：184cm/74kg
 血液型：A型
 出身地：沖縄県
 ポジション：センター

▽担当者のコメント

司令塔としてチームを引っ張るハツラツとしたプレーに注目！！
 ▽ファンの方への東江選手からメッセージ
 これから新人らしくはつらつとしたプレーでチームの勝利に貢献できるように一生懸命頑張ります。応援宜しくお願い致します。

開幕戦黒星スタート
 3月2日（土）、Jリーグが開幕した。昨シーズン優勝したサンフレッチェ広島は、今シーズンより改名された「エディオンスタジアム広島」で浦和レッズとの初戦を迎えた。スタジアムは、ゼロックス杯を優勝した広島に大きな期待を寄せたサポーターが多く集まり、多くの人で席を埋めた。浦和には広島に所属していた、森脇・植野・柏木が所属している。そして、監督は広島前監督のペトロヴィッチ氏であり、広島をよく知っているため苦戦を強いられることが予想された。広島は浦和の攻撃に耐えていたが、前半37分に先制点を浦和に決められる。後半に入る立ち上がり早々、浦和に2点目を奪われる。その直後に、森崎浩司のフリーキックで1点を取り返した。その後は広島がペースを握ったが、得点は奪えないまま試合終了。広島は黒星スタートとなった。今シーズンの「一丸」というスローガンのように、チームが1つになり、勝ち続けるサンフレッチェを見ることで期待したい。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。